

室蘭製油所水素化分解装置・火災事故に対する供給対策について

各位

2月5日13:07頃、当社グループ精製部門である新日本石油精製株式会社(社長:小沢 稔)室蘭製油所(所長:小菅 章光、原油処理能力:日量18万バレル)におきまして、水素化分解装置(日量2万7千バレル)に隣接するポンプ室より火災が発生いたしました。

火災による油の海上漏洩、負傷者の発生は無く、同日16:09に鎮火を確認いたしました。装置につきましては、安全確認のため一部を除きまして停止しております。このため石油製品の需給に影響が発生しておりますが、全グループをあげて万全のバックアップ体制をとるように手配済みです。

特に灯油につきましては、供給確保を最優先し、国内外からの製品調達、在庫取り崩し、他の製油所からの転送などのあらゆる対策を講じてまいります。なお、今回の火災事故の影響および供給対策については、以下のとおりとなります。

記

1. 経緯

2/5(日) 13:07 水素化分解装置のポンプ付近で火災を発見。

16:09 公設消防による鎮火宣言。

2/6(月) 本社に「室蘭製油所HDC火災事故」に関する対策本部(本部長:小林副社長)を設置し、原因究明、設備の早期復旧、再発防止策の策定ならびに緊急需給対策を検討。

2. 現状について

(1) 装置稼働

1) 水素化分解装置、残油脱硫装置(日量1万6千バレル)に関する使用停止命令を受理。

2) 2/7現在、二次装置が停止している影響で原油処理量は50%程度。IPPは通常運転中。

<稼働している主な装置>: 常圧蒸留装置、減圧蒸留装置、IPP

<停止している主な装置>: 水素化分解装置、残油脱硫装置、減圧軽油水素化脱硫装置、流動接触分解装置、灯油水素化精製装置、軽油水素化精製装置、接触改質装置、水素製造装置、硫黄回収装置

(2) 出荷状況

昨日(2/6)より、海上、陸上ともに通常どおり全油種(LPガスを含む)を出荷中。

(3) その他

事故発生原因については、関係官庁によって現場検証中。

3. 供給対策について

当社グループ製油所からの転送、市中購入、在庫取り崩し、製品輸入で対応。なお、既に提携先からも協力の申し出を得ております。

以上

お問い合わせ

新日本石油株式会社 広報部広報グループ

東京都港区西新橋一丁目3番12号

TEL: 03-3502-1124